

## 私を変えた浪人生活

ジョジユン

皆さん、こんにちは。私は韓国の世宗大学から来たジョジユンと申します。本日はお忙しい中を、私たちのスピーチコンテストのために、おこしいただきありがとうございます。

まず、テーマを選んだ理由を申し上げます。私は大学入学試験に一度失敗して、一年浪人しました。あの1年が私の様々なことに影響を与えました。特に、感じたことが素直に言えるようになって、お金についての概念が出来て、人の付き合い方が変わりました。

高校時代は家族とも本音で話をしたことがあまりありませんでした。浪人したら「あなたは今まで頑張ってきたから、きっとやり抜くよ。」と言われて、「こんなにもみんなから愛されているんだ。」と実感しました。家族の応援の言葉は負担ではありませんでした。逆にづらい生活に進んでいける原動力になりました。それ以前は家族の有難さ、大事さを実感できなかった私が、あれから「母さん、ありがとうございます。」など、感じたことが素直に言えるようになりました。

また、親戚が20万円ぐらいの予備校の費を出してくれたのをみて、「これ以上のお世話になってはいけない。」と思いました。それまでもらった小遣いだけでもすごく多いお金だったのを悟（さと）り、自分が経済的な負担もする必要があると強く思いました。それで大学入学前からアルバイトを始め来日直前まで続けました。アルバイトで貯めたお金で今の留学の準備もしました。

高校時代までは「友人以外の人たちは必要じゃない。」とっていました。それで、人と交ったりしませんでした。予備校でも前からの友人とだけ付き合いしました。でも、やはり人と人の交流がなければ楽しい生活をおくれないことを切実に実感しました。「これではいけない。」と悟（さと）った私は、今でははじめての人にも声をかけたりします。今ではこうしてスピーチコンテストにも出られるようになりました。

ご清聴ありがとうございます。